

オンリーワン・ハイスクール（グローバル・ハイスクール）計画書（報告書）I類

学校名	(学校番号82) 県立浜北西高等学校	目指す学校像	地域に開かれ地域から信頼される学校づくりを通して、グローバルな視野を持ち将来地域社会で活躍できる生徒を育成する。													
学校の課題	本校を知る人の多くは本校の良さを理解し本校の活動を応援してくれている。より多くの人に本校に関わってもらい、生徒の視野を広げることにつなげていきたい。			生徒の課題	現状に満足し新しい世界へ足を踏み出そうとするバイタリティに乏しい生徒が多い。国際社会や地域社会でさまざまな体験をさせることで、自発的活動を促し、視野を広げ、生徒に将来を見通せる力を身につけさせたい。											
3年間で構築する指導体制、教育課程等をどのように進めていくか。年度ごとの取組概要。	<p><令和3年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 各分野の学識経験者である「学校運営協議会」委員の力を借りて国際理解教育・地域貢献活動の可能性を探る。 かねてから交流のあるタイ王国シリントン学校や過去に本校に留学をし帰国した生徒との交流（オンライン）を図り、これらを足掛かりにした「国際理解教育」の可能性を探る。 「地域貢献」に関して実績のある常葉大学の指導を受け、本校における地域貢献活動の可能性を探る。 「総合的な探究の時間（キャリア教育）」を幅広い地域連携と探究的活動を取り入れて再構築する（3年計画）。 研修課及び校内「探究コーディネーター」を中心に企画を立て、また、これらの活動に必要な資材を整える。 			<p><令和4年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に立てた企画のうち実現可能性の高いものに学年ごとに実際に取り組むとともに、企画の幅を広げる。 タイ王国シリントン学校へ「生徒を派遣」する準備を進めるとともに、オンラインでの交流、他の国や学校との交流、留学生との交流、日本在住の外国人との交流を進める。 「浜北国際交流協会」等との連携を深める。 「SDGs」（持続可能な開発目標）について理解を深める。 外部「探究コーディネーター」の設置を行う。 			<p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画に取り組むとともに、研修課及び探究コーディネーターを中心に令和4年度に実施した企画について検証を行い、本校としての国際理解教育・地域貢献活動の在り方を整理する。 タイ王国シリントン学校へ「生徒を派遣」する。 「Think globally, act locally」のスローガンの下、両者をバランス良く、持続可能なものにしていく。 									
		初期値			令和5年度目標値			令和3年度実績（評価）			令和4年度実績（評価）			令和5年度実績（評価）		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
共通指標	①「家庭学習の中心」が「自分で必要と判断した学習」である生徒の割合（%）	29.7%	33.1%	50.2%	15%	30%	60%	13.8%	21.7%	50.2%	(F)	(F)	(-)	()	()	()
	②1週間の家庭学習時間の平均 ※21時間45分の場合21.75時間	9.43h	7.27h	10.95h	10h	15h	20h	7.37h	6.67h	10.95h	(F)	(F)	(-)	()	()	()
	③自ら進んで授業に取り組む生徒の割合（%）	27.9%	28.6%	48.1%	30%	40%	50%	25.4%	38.0%	48.1%	(F)	(A)	(-)	()	()	()
	④授業内容等に興味があつて学校を選択した生徒の割合（%）	令和3年度入学生 48.2%			令和6年度入学生 40%			令和4年度入学生 5.0% (F)			令和5年度入学生 % ()			令和6年度入学生 % ()		
個別の成果指標	将来は地元等で地域貢献したいと考える生徒の割合（%）	13.2%（1・2年生）			33.3%			23.3%（1～3年生）								
令和3年度要求予算額（オンリーワン・ハイスクール分）		1,330,000円					令和3年度決算額					291,251円				
令和4年度要求予算額（オンリーワン・ハイスクール分）		1,070,000円					令和4年度決算額					円				
令和5年度要求予算額（オンリーワン・ハイスクール分）		円					令和5年度決算額					円				

※予算、決算及び次ページ以降は、提出時期に応じて加筆していく（令和3年度当初の提出では、黄色の部分に記入する。）。

※次年度の「目標値」を修正する場合は、変更箇所を朱書（見え消し）する。

※評価 A：100%（以上）達成 B：80%以上達成 C：60%以上達成 D：40%以上達成 E：40%未満